

各関係機関・団体長 様

愛媛県病虫害防除所長

病虫害防除技術情報（第 4 号）の送付について  
このことについて、下記のとおりお知らせしますので、御参照の上、防除指導方よろしく申し上げます。

記

1 情報の内容 田植え後のスクミリンゴガイの防除対策の実施について

2 令和 3 年度の発生予想

- (1) 近年、暖冬傾向が続いているため、越冬量の増加が懸念される。
- (2) 令和 3 年 1 月上旬に寒波が襲来したものの、令和 2 年 12 月から令和 3 年 2 月までの最低気温の日数は、死亡に必要な日数まで達していないことから、冬期の低温による水田や用排水路での十分な密度低下は期待できない（表）。
- (3) 令和 3 年 2～3 月が高温で経過したことからスクミリンゴガイの活動開始時期は早まっており、既に早期水稲や用排水路での産卵が多く認められている。
- (4) 本年は梅雨入りが早いいため今後降雨日が継続した場合、深水状態では被害が多くなるので注意する。

3 防除対策

- (1) 移植前の対策として、取水口や排水口にネットや金網等を設置し本田への侵入防止を図る（写真）。
- (2) 移植前の貝の密度を下げるため、水路での捕殺・殺卵を実施する（素手での捕殺等は避ける）。
- (3) 浅水管理は、移植後 3 週間（食害を受けにくい 5 葉期）まで行う。浅水管理の目安として、水深は 4 cm（理想は 1 cm）以下に維持し摂食行動を抑制する。
- (4) 移植後、できるだけ早く薬剤散布を実施し殺貝や食害防止を図る。
- (5) 農林水産省「スクミリンゴガイ防除対策マニュアル（移植水稲）」参照。

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/siryoku2/sukumi/sukumi.html>

表 主な発生地域の冬期の最低気温(0℃以下)の到達日数

地点	最低気温	日数			計
		令和2年12月	令和3年1月	令和3年2月	
西条市	0℃～-2.9℃	1	8	2	11
	-3℃以下	0	2	0	2
今治市	0℃～-2.9℃	2	11	4	17
	-3℃以下	0	0	0	0
松山市	0℃～-2.9℃	0	8	2	10
	-3℃以下	0	0	0	0

1)スクミリンゴガイが死亡する日数の目安:0℃で20～25日、-3℃で3日



写真 金網による侵入防止